





















材料



バイオ







圧電素子と電極を配置して、構造物の損傷を簡単に モニタリングできるようにした損傷センシングシート

特 許 権 者:独立行政法人産業技術総合研究所

イセンス情報番号:L2003002840

本特許は、複数の圧電素子を配置した1枚の樹脂製 フィルムと、これら複数の圧電素子と電極コネクタと を結ぶ導電回路を配置した別の樹脂製フィルムとを、 圧電素子の配置された面と電極回路が配置された面と が接合するよう貼着して形成した非破壊検査用樹脂製 フィルム(損傷センシングシート)である。

シートは、複数の圧電素子を1枚のフィルム上に、 例えばセラミック製圧電素子4個の検出素子を4隅に 配置し、さらに1個の圧電素子からなるアクチュエー タを中央に配置する。導電回路を配置した別の樹脂製 フィルムはコネクターと検出素子およびアクチェータ とをそれぞれ接続するように電極回路を導電ペースト で印刷して形成する。

シートを利用する方法は、検査構造物にシートを貼 り付け、コネクターを通して直流電源から矩形波をア クチュエータに印加する。するとアクチュエータは発 振し、発振した弾性波は構造体内部を伝搬して検出素 子で検出される。検出した弾性波の出力信号をコンピ ュータで解析する。

波形変化から被検査体内のクラック、剥離等による 質的変化を推測することができる。検出した波形や到 達時間から損傷の種類や発生場所も特定することがで きる。

シートは被検査体に貼り付けるだけで使用できるの で、鉄骨構造体、車体などセンサを埋設できない構造 物や稼動している部材にも適用でき、構造体における 損傷を断続的あるいは継続的に把握できる。

patent review

用 語 解 誁

圧力を加えると電圧が変化(圧電効果)する素子で、ジ ルコン酸チタン酸鉛がよく用いられる。

アクチュエータ

電圧を印加するとひずみを発生する逆圧電効果を用い、 デバイスをオン/オフする機構。

キューリー温度

昇温により圧電体の結晶構造が正方晶から立方晶に変わ り、圧電性を失ってしまう温度。

電気を通す膜を形成する前駆体で、ペーストを塗布・乾 燥し液体部分を蒸発させて使用する。

ユーザー業界





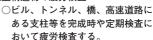






活用アイデア

大型構造物の病労給香



- ○飛行機、車、列車、船舶の構造体 等についての疲労度検査
- ○耐衝撃性検査

機器の耐久性検査

○機器、装置の稼動部や負荷部の耐 久性を検査する。

貴重遺産のモニタリング

○原爆ドーム、石造や木造等の老朽 建築物の疲労度を検査する。

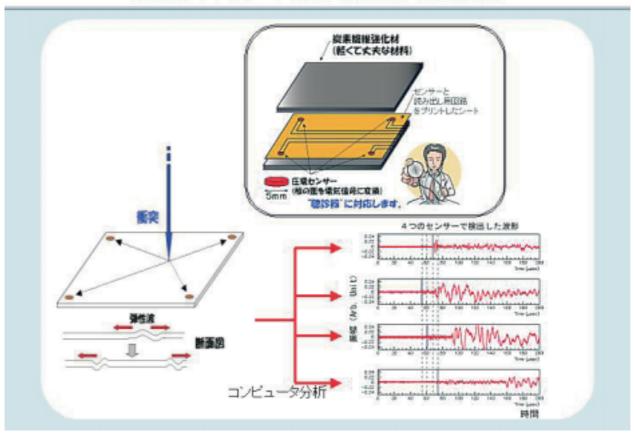
market potential

近年、航空機、自動車、トンネル、架橋支柱の ような大型構造物の疲労、損傷がよく問題になる。 これらの点検は目視検査や打音検査が主流で、熟 練技に頼っている。しかし、本特許の損傷センシ ングシートを用いることにより物理的特性を精密 に定量に測定できるので熟練度に頼ることなく非 破壊検査できる。

損傷センシングシートを構造体に貼り付けるだ けで、損傷位置、損傷形態が把握できるだけでな く、断続的・継続的にモニタリングできるので、 稼動状態や移動状態でも材質の質的変化を検知す ることができる。

このような検知技術は構造物の疲労や劣化等の 基礎的研究に多大な貢献できるであろう。機器や 装置の稼動部や負荷部の耐久性は重要な問題であ るが、これらの耐久性試験や経年加速試験におい て有効なデータを提供でき、今後の展開が大いに 期待できる。原爆ドームや石造・木造建築物のよ うな貴重な遺産のモニタリングにも有効と思われ る。

損傷センシングシートおよびそれを用いた解析方法



特許情報

・権利存続期間:16年6ヶ月(平32.10.12満了)

・実施段階:実施無し

・技術導入時の技術指導の有無:応相談

・ノウハウ提供:応相談

・ライセンス制約条件:許諾のみ

○出願番号:特願2000-311782

○出願日/平12.10.12

○公開番号:特開2002-122574

○公開日/平14.4.26

○特許番号:特許3459982

○登録日/平15.8.15

特許流通データベース情報

·タイトル:損傷センシングシート

・ライセンス番号:L2003002840

http://www.ryutu.ncipi.go.jp/db/index.html

からご覧になれます。

参考情報

・関連特許:あり

皆様からのお問合せを、お待ちしています。

■この特許の問合せ先■

独立行政法人産業技術総合研究所つくばセンター 産総研イノベーションズ 業務部門 部長 山上 喜吉

〒305-8568 茨城県つくば市梅園1ー1ー1 TEL:029-861-5210 FAX:029-861-5087 E-mail:k.yamagami@aist.go.jp

もしくはお近くの特許流通アドバイザー (P198~201をご覧下さい)にご連絡下さい。



電気・ 電子









































